

NEW GA360 (GA4)

プロダクトロードマップ

契約関連 最新情報

ウェビナー (2022年3月版)

訂正版

Google アナリティクス 360 ご契約社様限定



改正個人情報保護法施行に伴うご対応について

2022年4月1日改正個人情報保護法施行開始に伴い Google社のポリシーが変更に

Google社が発行する個人関連情報(PRI)の利用に関して

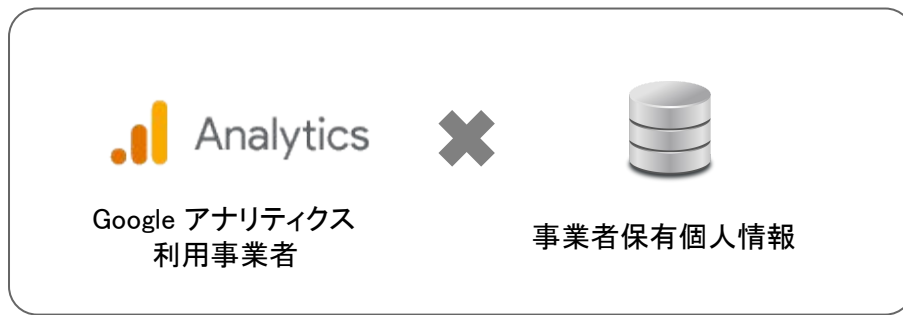


条件①
Google 広告と
Google アナリティクスの
プロダクト連携

Google社からPRIを提供

Google社が提供したPRIが、提供先において個人情報と紐づいて個人データとなる場合に、本人同意が得られているかの確認の義務が発生

条件①②が揃うと、第三者提供に該当



条件②

「発行したPRI」と「個人を特定できる情報」を統合することは原則禁止
ただし、以下の場合は統合可能

- 法律に則った方法でユーザーから同意を得る
- Google社に同意に関する処理についての完全な情報を提出
→お手続きの方法については後ほどご説明

対応が必要なケースの具体例

- **条件①**
 - Google 広告とGoogle アナリティクスを連携している
- **かつ、条件②**
 - Google アナリティクスで個人データとの紐付けが可能な状態となっている

前回のご案内で漏れていた条件

具体例①

会員サイトにおいて、**会員IDをハッシュ化してカスタムディメンションに入れている**場合

具体例②

BtoBサイトで、**お問合せフォームからGAのクライアントIDを取得**している場合

具体例③

他社CRMツール(個人情報保有)の**ユニークIDをGAに入れている**場合

対応が不要なケースの具体例

- Google 広告とGoogle アナリティクスを連携していない
- 個人を特定できる情報を提供サービスで取得していない
- 上記のような突合できるID等をGoogle アナリティクスに入れていない

対応が必要なGoogle プロダクト

前回の説明と異なる点

- 事業者様からの申請は Google 広告、または Google アナリティクスどちらか片方だけの申請で OK
- タグマネージャー、オプティマイズ、データポータルへの申請は不要(すでに申請済み場合は訂正は不要)
- Ads Data Hub、DV360、CM360、ADM360をご利用の場合、申請が必要なケースが発生する場合がありますので、その場合は、Google 広告担当または広告代理店までご相談ください。

測定サービス

- **Google アナリティクス**
- Google アナリティクス 360
- Firebase 向け Google アナリティクス
- Google カスタマーレビュー
- Google Data Studio
- Google オプティマイズ
- Google オプティマイズ 360
- Google タグ マネージャー
- Google タグ マネージャー 360

広告サービス

- AdMob
- ~~Ads Data Hub~~
- AdSense
- Audience Partner API
- 認定バイヤー
- キャンペーン マネージャー 360
- ディ스플레이&ビデオ 360
- 拡張コンバージョン
- ファンディング チョイス
- Google アド マネージャー
- Google アド マネージャー 360
- **Google 広告**
- Google 広告カスタマー マッチ
- Google 広告の店舗での販売(直接アップロード)
- 検索広告 360
- Waze Ads

対応方法

- プロダクト毎で以下のフォームから申請が必要
- [Google Ads Data Protection Terms Troubleshooter](#)

Google Ads Data Protection Terms Troubleshooter

What do you want help with?

日本の個人情報保護法 (APPI) の遵守

Check

©2022 Google - プライバシー ポリシー - 利用規約

日本語

Google が提供する広告サービスまたは測定サービスのご利用に関して Google から 個人関連情報を受け取り、自身の個人データ（個人情報保護法 で定義）と 個人関連情報 を組み合わせて使用する場合は、こちらのお問い合わせフォームに必要な情報を記入してお送りください。複数のサービスで 個人関連情報 を受け取る場合は、サービスごとにフォームをお送りください。

表示されたお問い合わせフォームのリンクから申請

名前 *

田中亨

リクエストの対象となる Google サービス *

Google アナリティクス 360

メールアドレス *

toru.tanaka@dragon.jp

サービス開始日 *

4/1/2022

↑ 2022/4/1と記載ください

会社 / 団体の名前 *

株式会社イー・エージェンシー

サービスの利用に終了日はありますか? *

- はい
- いいえ

会社の住所 *

東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館4階

受け取って個人データと組み合わせて使用する個人関連!

- Cookie 識別子
- IP アドレス
- モバイル広告デバイス識別子
- 暗号化されたシグナル
- パートナー提供の識別子
- その他

サービス (またはプロダクト) のアカウント番号

※組織ID、またはアカウントID

↑ 組織IDでもご登録可 (GMPプロダクトのみ)
カンマ区切りで記入いただくことも可能

CEO または他の代表者の名前 *

甲斐 真樹

同意の取得方法 *

- 利用規約やプライバシー ポリシー全体への同意の一部として取得した同意
- 個人データと組み合わせた個人関連情報 (PRI) の使用に対して、他の目的とは個別にユーザーから取得した同意 (この目的専用のフォームやメールなど)
- 書面または他の書式で証明できる同意 (利用規約が表示されたオンライン フォームのチェックボックスなど)
- 口頭で取得した後、書面または別の書式で記録した同意
- 口頭でのみ取得した同意

確定して送信 *

- チェックボックスをオンにして、[送信] をクリックすることで、送信した情報が完全で正確であること、および組織を代表してこの情報を送信する権限があることを確認するものとします。また、日本以外を拠点とする場合、個人情報保護法に従い、拠点とする国およびあなたの組織で取られている個人情報 (個人情報保護法で定義) を保護するために使用する技術的および組織的な方策についての情報を本人に対して提供していることを確認するものとします。

送信

事業者が収集する個人関連情報(PRI)の Google社による個人データとの関連付けについて

事業者のGoogle アナリティクスの利用にあたり、Google社でPRIと個人情報との紐付けが発生するケース

- GA管理画面の「データ収集」にて「**Google シグナル**」を有効にしている場合
 - ユーザー属性データの利用、Google広告連携には必要な機能

Google シグナルで使用するデータの収集

[Google シグナル](#)を有効にすると、Google アナリティクスの標準実装で収集されるデータに加え、お客様のトラフィックに関するデータ収集も可能になり、クロスデバイスのオーディエンスやインサイトなどの追加機能が使えるようになります。

この機能を有効にすると、Google アナリティクスで訪問データが収集され、そのデータがログインユーザーのアカウントのGoogle情報と関連付けられます（ただし、関連付けの対象となるのは、広告のカスタマイズを目的としたこうした関連付けに同意しているユーザーのみです）。このGoogle情報には、エンドユーザーの位置情報、検索履歴、YouTubeの利用履歴、Googleのパートナーサイトで収集されたデータなどが含まれる可能性があります。このGoogle情報は、お客様のユーザーのクロスデバイス行動について、集約および匿名化されたインサイトを提供するために使われます。お客様はこの機能を有効にすることで、[Googleの広告向けの機能に関するポリシー](#)（デリケートなカテゴリに関する規約など）を遵守すること、かかる関連付けについてご自身がエンドユーザーに対して必要なプライバシーの開示を行って、関連付けを行う権限をエンドユーザーから取得すること、エンドユーザーが[マイアクティビティ](#)を通じてかかるデータを閲覧、削除する場合があることに同意するものとします。

提供元の事業者では個人関連情報で個人データに該当しないが、Google社において、個人データ（Googleアカウント）との関連付けが発生します。

この場合、事業者側では個人情報取得時の本人同意が得られていること等の確認が義務付けられています。

Googleによるユーザー同意の確保

- [ビジネスユーザー向け個人情報保護法に関するご案内](#)



▼以下概要

- **Googleは必要な同意をデータ主体から取得している**
- **データ主体から同意を取得する方法**
 - Googleアカウント作成時、同意ボタンによる同意取得
 - 『Google のサービスやお使いのデバイス全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスペル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。』
- **目的**
 - コンテンツや広告など、カスタマイズしたサービスの提供
 - パフォーマンスの測定
- 「Googleの個人関連情報の取扱いの詳細」は上記ページにてご確認

おもてなしを科学する

e-Agency

この度はご迷惑をおかけして、申し訳ありませんでした。

Googleアナリティクス360の運用・活用を通じて、成果最大化に貢献できるよう尽力してまいります。

ご検討の程、何卒宜しく願い申し上げます。